

(別紙1)

## 管理運営状況 評価シート【令和5年度】

(評価日 令和6年6月28日)

### 1 施設の概要

施設名	岩手県立福祉の里センター
所在地 電話・FAX HP・電子メール	岩手県大船渡市立根町字田ノ上 30-20 電話 0192-27-0294 FAX 0192-27-4386 http://fukushinosatocenter.jp
設置根拠	福祉の里センター条例
設置目的	(設置：平成4年4月1日) 県民の平等な利用の確保を図るとともに、社会福祉に関する研修・啓発活動等を行うことにより、県民の福祉意識の高揚を図る。
施設概要	敷地面積 9,325.30㎡、延床面積 2,988.81㎡、鉄筋コンクリート造、地上2階 主な施設 多目的ホール、会議室、研修室(4室)、大広間(3室)、工芸室、 宿泊室(10室、定員52名)
施設所管課	岩手県保健福祉部地域福祉課 (電話 019-629-5481 (ダイヤルイン)、メールアドレス AD0004@pref.iwate.jp)

### 2 指定管理者

指定管理者名	社会福祉法人大洋会
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年間)
連絡先	岩手県大船渡市立根町字下欠 125-15

### 3 指定管理者が行う業務等

業務内容(主なもの)	福祉の里センター管理運営業務		
職員配置、管理体制	8名 (令和6年3月31日現在) (内訳) 正職員6名、契約職員1名 パート職員1名	組織図	所長(1) 一指導員(7)
利用料金	岩手県指令地福第819号(令和5年3月29日)により承認した利用料金		
開館時間	宿泊室以外 9時～21時 宿泊室 到着の日の16時 ～出発の日の10時	休館日	なし

### 4 施設の利用状況

(単位：人)

利用者数、稼働率等)	前期間平均	指定管理期間						備考
		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	期間平均	
第1四半期	15,908	6,343	8,160	8,369	10,064		8,234	
第2四半期	18,500	9,696	6,365	9,557	10,138		8,939	
第3四半期	16,806	10,889	10,618	9,591	9,324		10,106	
第4四半期	15,112	8,334	8,210	9,343	10,152		9,010	
年間計(実績)	66,326	35,262	33,353	36,860	39,678		36,288	
年間計(計画)								

## 5 収支の状況

(単位：千円)

区 分	前期間 平 均	指定管理期間						備考
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	期間平均	
収 入	利用料金収入	4,295	2,073	1,890	2,274	2,402	2,160	
	県委託料	54,190	56,660	57,420	60,454	56,953	57,872	
	自主事業収入	975	29	116	206	400	188	
	小計	59,460	58,762	59,516	62,934	59,755	60,242	
支 出	人件費	30,009	31,244	32,985	33,327	27,820	31,344	
	維持管理費	27,264	26,436	27,853	31,360	30,525	29,044	
	事業費							
	自主事業費	908	46	408	283	417	289	
	小計	58,181	57,726	61,246	64,970	58,762	60,676	
収支差額	1,279	1,036	△1,730	△2,036	993	△434		

## 6 利用者の意見等への対応状況

### (1) 利用者意見（満足度等）の把握方法

把握方法	アンケート、「ふれあいポスト」の設置（目安箱）	実施 主体	指定管理者
------	-------------------------	----------	-------

### (2) 利用者からの苦情・要望

受付件数	苦情8件、要望19件、その他148件		
主な苦情、要望等	対応状況		
① ・夜間、「ウィーン」と言うモーター音が繰り返し聞こえ、静かな所ゆえ気になり、なかなか寝付けなかった。	宿泊室の近くにあるポンプ室の、ポンプが作動するときに出る機械音です。ベアリング等の部品が消耗劣化していて、ポンプ作動時に大きな音が発生します。ポンプ室にポンプが2台あり、交互に作動しますが機械も古く、両方ともポンプから水が漏水している状態で稼働しています。作動音がとても大きく、一日中音がしますが、特に夜の寝静まった時には大きく聞こえ、宿泊者に迷惑がかかっている状況です。たくさんの宿泊者から、うるさくて眠れないという苦情がきています。修繕費で直せる金額ではないので、県に大規模修繕として要望は出しています。今後、県と協議しながら対処してゆく。		
② ・浴室のカランの水漏れは早急に対応した方が良いと思います。	浴室カラン漏水の原因が給湯配管の劣化が原因となっており、給湯配管がタイルの中に埋め込まれているため、すぐに直せるものではありませんでしたので、宿泊者利用が無い時を見計らい、早急に対処しました。		
③ ・照明のスイッチに名前があると分かり易くて良いと思います。いつも全部のスイッチを押して確認し必要なスイッチをONにしています。	宿泊室（洋室）には、あらかじめ表示されているので、宿泊室（和室）全部屋のスイッチに、点灯場所が分かるように表示シールを貼りました。		
その他利用者からの積極的な評価等 ・毎回気持ち良く利用させていただいています。ありがとうございました。 ・久しぶりに来ましたが、以前と変わりなく清潔感があり、特に浴室はきれいですごく心がほぐされました。身障者には特に気を配っていることが、以前にも増して感じられました。 ・ボランティア活動を年2回行っていますが、低料金で家計が助かっています。 ・初めての利用でしたが、宿泊料金をきにしなくて誰もが利用できる宿泊施設の存在はありがたいと思います。			

7 業務点検・評価 (※)

(1) 業務の履行状況

項目	事業計画、県が求める水準	実績 (指定管理者の自己評価)	評価指標
運営業務	<p>1 利用者のニーズを考慮し、年中無休とする。【提案：指定申請】</p> <p>2 利用料金は、あらかじめ知事の承認を受けたものとする。【条例第6条②】</p> <p>3 施設の利用状況及び利用料金収入等について、毎月県に報告する。【基本協定第10条】</p> <p>4 絶対に差別することなく、平等に利用させる。【提案：指定申請】</p>	<p>1 年中無休で開館しました。</p> <p>2 知事の承認を受けた利用料金としている。</p> <p>3 基本協定に基づき、翌月10日までに県に報告している。</p> <p>4 受付順に利用を許可し、公平性を確保して平等に利用いただいている。</p>	A
施設の利用状況	<p>1パンフレットやチラシ等を作成して関係機関に送付したり、ホームページでイベント紹介などを行い施設の利用を呼びかける。【提案：指定申請】</p>	<p>1 広報「福祉の里」を年3回発行し、関係機関に送付している。又、ホームページに各事業案内を掲載し、受講者等の募集をしている。事業等の報告もホームページ内のブログに掲載している。</p>	A
事業の実施状況	<p>1 福祉に関する実践教育及び研修を行う。【仕様書第5(3)】</p> <p>2 福祉の里内施設との連携により、福祉の各種イベントを開催する。【仕様書第5(4)】</p>	<p>1 社会福祉従事者等専門研修会を年5回実施した。(レクリエーション支援、高齢者支援、面接に関する研修)</p> <p>2 福祉の里内施設、大船渡市社会福祉協議会と共催で、「第53回鯉のぼり子どものつどい」を4年ぶりに開催した。晴天の中、延べ500名の方が来場した。「探して見つけて幼虫ゲットコーナー」「わたあめ・ポップコーンコーナー」「デコレーションホットケーキコーナー」が人気で長蛇の列を作っていた。</p>	B
施設の維持管理状況	<p>1 法令により点検等が義務付けられている施設及び設備、あるいは安全上、保安上点検が特に必要な施設及び設備については、点検等を行う。【仕様書第12】</p> <p>2 必要と認められる施設名、点検箇所、点検項目を設け、施設の点検を行う。【仕様書16】</p> <p>3 備品の適切な管理【仕様書第4】</p>	<p>1 法令及び仕様書に基づき、点検等が義務付けられている施設及び設備、また安全・保安上点検が必要な施設及び設備についての点検を確実に実施しました。また、浴用水の水質検査や浴場ろ過装置及び配管経路洗浄消毒は法令で義務付けられた回数以上を実施し、安全衛生の保持に努めた。</p> <p>2 業務点検表に基づき、毎日5回目視点検を実施した。修繕が必要な項目については速やかに対応した。また、交流広場施設等(遊具含)は点検表に基づき、月1回点検を実施しました。</p> <p>3 備品チェック表に基づき、備品チェックを年1回実施した。</p>	A

記録等の整理・保管	1 指定管理者として作成した帳票書類は、5年間保管する。【仕様書第11】	1 作成した帳票書類は、7年間保管している。	A
自主事業、提案内容の実施状況	1 高齢者や障がい者を対象とする各種生涯学習事業や交流事業を実施する。【提案：指定申請】	1 以下の通り自主事業を実施した。 気仙シニア大学 11回 243人 岩手県ポッチャ大会 11回 366人 創作活動(バルーンアート) 3回 261人 サマースクール 1回 12人 ウィンタースクール 1回 10人 「福祉の里センター杯」グラウンド・ゴルフ大会 1回 245人 ほっぷ・ステップ・ソング 21回 617人 ほっぷ・ステップ・ソング出前 11回 354人 子育て支援ルームあおぞら 93件 269人 芸能ボランティアの会 2回 180人 ・事業の実施体制 各事業で必要に応じて保険に加入した。又、各所に事業開催のポスター掲示や地元紙に参加者募集の記事掲載を依頼した。	B
(施設所管課評価) ・成果のあった点 施設・設備の法定点検に加え、業務点検表に基づく日常点検を通して、故障個所の迅速な修繕に繋げるなど、施設の安全衛生の維持管理に努めている。また、広報誌の発行やホームページによる予約状況の案内など、施設を利用しやすくなるような取組を行っている。 令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを受け、福祉の里内施設との連携イベント「鯉のぼり子どものつどい」をはじめ各種事業の再開し、開催回数を増やすなど、前向きな運営が行われている。 ・改善を要する点 特になし			A

(2) 運営体制等

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
職員の配置体制	1 管理運営を円滑に遂行するため各業務に適した者及び必要な有資格者を配置する。【仕様書第6】	1 各種事業等を円滑に遂行するため、社会福祉士、商業簿記2級、インスタントシニアインストラクター、初級障がい者スポーツ指導員、卓球バレー普及指導員の有資格者を配置した。	B
苦情、要望対応体制	1 利用者の意見要望を把握するため、定期的にアンケートを実施し、その結果を管理運営業務に反映さ	1 各事業実施時には、必ずアンケートを実施し、次回の事業実施時の参考とした。また、宿泊者には初	A

	<p>せる。【仕様書第9】</p> <p>2 アンケート結果及び管理運営業務への反映状況等について、県に報告する。【仕様書第9】</p>	<p>回利用者を中心にアンケートを実施した。アンケート結果を職員間で回覧し、意見要望等の情報共有を図るとともに、改善が必要と判断した場合は、速やかに対応した。</p> <p>2 アンケート結果及び改善状況等については、毎月の定期報告で県に報告した。</p>	
危機管理体制（事故、緊急時の対応）	<p>1 施設の点検は毎日行い、異常を発見した時は、速やかに使用停止等の措置を行うほか、安全上、機能上支障がある破損等は、県に報告する。【仕様書第16】</p> <p>2 人身事故が発生した場合は、事故者の保護に努め、応急手当を行うほか救急車の要請等適切な措置を行う。【仕様書第19】</p> <p>3 利用者の金品盗難、紛争等が発生した場合は、警察署に通報する。【仕様書第19】</p> <p>4 事件・事故の内容の如何に関わらず調査を行い原因究明に努め、管理運営上改善すべき点については適切な措置を行う。【仕様書第19】</p> <p>5 事故等の顛末を事故報告書等により県に報告する。【仕様書第19】</p> <p>6 携行できる応急手当用品を常時備える。【仕様書第19】</p> <p>7 危機管理マニュアル（大洋会）に従い適切に対応する。【提案：指定申請】</p>	<p>1 施設点検は、業務点検表に基づき毎日5回点検を実施した。異常を発見した場合は、使用停止の措置を行ない、速やかに修繕で対応した。また、施設及び設備で経年劣化や老朽化で大規模修繕が必要とされる箇所につきましては、県に修繕の要望を報告した。</p> <p>2 人身事故は発生していません。</p> <p>3 金品盗難、紛争等は発生していません。</p> <p>4 事件、事故等は発生していません。</p> <p>5 事故等は発生していません。</p> <p>6 携行用バッグに入れて常備し、すぐに携行出来るよう備えた。また、施設外での事業実施の際には必ず携行した。</p> <p>7 消防計画を策定し、消火訓練、通報訓練、避難訓練を年2回実施した。また、地震発生時や津波警報発令時の対応を、マニュアルに基づき職員間で確認しました。</p>	A

コンプライアンスの取組み、個人情報の取扱い	<p>1 仕様書に定める基本的事項に従って、管理運営を行う。【仕様書第4】</p> <p>2 法令により点検等が義務付けられている施設及び設備について、点検等の措置を行う。【仕様書第12】</p> <p>3 個人情報管理規程(大洋会)に従い、適正に管理する。【提案：指定申請】</p>	<p>1 関係法令及び条例の規定を遵守、個人情報を適切に管理、公共性、公平性を確保するため、予約時間の遵守、原則宿泊予約は3泊4日とし管理運営を行いました。</p> <p>2 法令等に義務付けられている施設及び設備の点検、安全上・保安上必要な点検及び施設運営上必要な点検を確実に実施した。</p> <p>3 業務に関連して取得した利用者の個人情報の取扱いに関して、個人の権利利益を侵害しないよう、また、個人情報が漏えいしないよう適正に管理するため、個人情報保護の徹底を図った。</p>	B
県、関係機関等との連携体制	<p>1 県と適宜連絡調整を行い、相互に協力して円滑な運営を図る。【仕様書第21】</p>	<p>1 状況等に応じて、随時県の担当者に報告、連絡、相談をして、相互協議を行い円滑な運営を図ることに努めた。</p>	A
<p>(施設所管課評価)</p> <p>・成果のあった点 ニュースポーツの普及に向けて有資格者を積極的に配置している点が評価できる。また、アンケート結果についても適切に対応し、管理運営や事業実施に反映されている。</p> <p>・改善を要する点 特になし。</p>			A

(3) サービスの質

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
運営業務	<p>1 従事者は公の施設の管理運営に従事する者であることを自覚し、利用者への対応、作業等には十分に注意を払う。【仕様書第7】</p>	<p>1 利用者への対応(電話の応対、言葉遣い、苦情・要望の応対等)は、職場内研修において確認を行い、接客態度の向上に努めている。また、事業実施にあたり、安全性を重視、指導方法の内容を職員間で確認及び見直しを計っており、職員の資質向上に積極的に取り組んでいる。</p>	A
利用者サービス	<p>1 利用者のニーズを考慮し、年中無休とする。【提案：指定申請】</p> <p>2 利用者の声を常に重視し、誠実に対応するとともに、接客マナーなどの職員研修も実施する。【提案：指定申請】</p>	<p>1 年中無休で開館した。</p> <p>2 利用者アンケートを通して、利用者の声を聴き、改善できることはすぐに対応した。又、職場内で電話応対などについて職員研修を実施した。</p>	A
利用者アンケート等	<p>1 利用者の意見要望等を把握するために定期的にアンケートを実施し、その結果を業務に反映させる。【仕様書第9】</p> <p>2 アンケート結果及び業務への反映状況について県に報告する。【仕</p>	<p>1 意見提言箱の設置のほか、初回宿泊者、事業毎に事業参加者へのアンケートを実施し、業務改善が必要な場合は、職員間で協議して迅速に対応した。</p> <p>2 アンケート結果及び改善状況等については、毎月の定期報告にて</p>	A

	様書第9】	県に報告した。	
(施設所管課評価) ・成果のあった点 利用者が安心・安全に利用できるよう、コンプライアンス遵守に関する研修や電話応対等の接客マナーに関する研修を実施した点が評価できる。また、利用者の要望等を運営に反映させるような取組を積極的に行っている。  ・改善を要する点 特になし			A

(4) サービス提供の安定性、継続性

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
事業の収支、指定管理者の経営状況	1 経営基盤が安定しており、指定管理業務の継続的な運営を行う能力を有している。	1 法人の運営は順調に推移しており、経営基盤は安定しています。 また、事業等の実施にあたり、必要に応じて法人内の各施設の職員が支援する体制をとっている。	A
(施設所管課評価) ・成果のあった点 法人全体におけるバックアップ体制が整っている点が評価できる。  ・改善を要する点 特になし			A

※（注1）県記載欄：「事業計画・県が求める水準」、「評価指標」「施設所管課評価」  
指定管理者記載欄：「実績（自己評価）」

（注2）評価指標

- A：協定書、提案書等の内容について高レベルで実施され、また、計画を上回る実績（効果）があり、優れた管理がなされている。
- B：概ね協定書、提案書等の内容どおり実施され、計画どおりの実績（効果）があり、適切な管理が行われている。
- C：一部、改善・工夫を要する事項が見られたが、改善済み、または改善される見込みである。
- D：協定書等の内容に対し、不適切な事項が認められ、改善を要する。

## 8 指定開始年度から評価年度までの総合評価

### (1) 指定管理者の自己評価

<p>① 成果があった取組み、積極的に取り組んだ事項</p> <p>主催事業の件数及び利用者数は、コロナ渦に減少したが、現在では今指定管理期間の開始年度に戻りつつある。</p> <p>福祉体験学習等は、協力が必要な福祉施設が感染症対策を講じていることもあり実施できていないが、そろそろ対策も緩め始めているので、相談を行い実施できるよう努めてまいりたい。</p> <p>ニュースポーツ等は、老人クラブ等の活動において依頼が増えている傾向が見られる。地域公民館にて一年に1回行われている運動会に代わる行事として、ニュースポーツを実施した地域が今年度も1件あった。福祉の里センター内で行うよりもその地域の施設で行われることが多く、センター内での実施はアクセスの問題もあり増加傾向とはなっていない。</p> <p>宿泊は研修を目的とした施設が故の料金及び設備であることを予約受付時や初めての方にはオリエンテーションを実施し、ご理解の上利用をいただいている。宿泊者数は一昨年度より増加傾向がみられている。</p> <p>自主事業は、微増傾向ではあるが、子育て支援となる「あおぞら」は、開設当初からに比べ子育て支援団体の活動が増えておりその影響もあってか減少傾向にある。</p> <p>水回り・電気設備等故障箇所が増えているが、利用者に不便を与えないよう引き続き迅速な修繕対応を行った。ホームページを更新し閲覧状況が確認できるが、予約状況の閲覧数が多いことから、予約管理システムの導入も検討が必要かと感じている。</p>
<p>② 現在、苦慮している事項、今後、改善・工夫したい事項、積極的に取り組みたい事項</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 宿泊スペースや研修室等へのできるだけ費用をかけずにWi-Fi環境を設置したい。</li><li>・ 人件費の増加による法人内の人事配置</li></ul>
<p>④ 県に対する要望、意見等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 会議室や研修室と利用状況において差別化する必要がなくなっている現状を踏まえ、視聴覚室の有料化を検討いただきたい。</li><li>・ 法人内の施設では運営費において職員の処遇改善加算により給与の改善が図られており、当センターにおいても同様の措置をお願いしたい。</li></ul>

### (2) 県による評価等

<p>① 指定管理者の運営状況について</p> <p>概ね適切な管理運営がなされていると認められる。</p> <p>施設管理の面では、各種設備等点検を漏れなく実施しているほか、令和5年度には28件の修繕を迅速に実施するなど、県民の安全・安心な利用のための適切な施設管理を行っている。</p> <p>事業実施の面においては、主催事業として社会福祉従事者専門研修や福祉体験学習といった県民の福祉意識の向上に寄与する事業を展開しているほか、自主事業としてニュースポーツの普及や地域の方々の交流・子育て支援にも積極的に取り組んでいる。</p> <p>一方で、震災以降増加していた利用者数は、平成25年度の約10万人をピークに年々減少し、令和5年度には約3万9千人となり、利用水準は震災前（平成22年度約6万3千人）よりも低くなった。施設利用者には福祉利用者がいることから、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響が大きく、回復には時間を要していると思われる。</p> <p>指定管理者には、更なる利用促進と利用者満足度の向上を図るために、これまで以上に利用者の意見を踏まえた管理運営の改善、事業の実施に努めてほしい。社会情勢が徐々に新型コロナウイルス感染症前の状況に戻りつつあることから、積極的な事業の実施、特に、福祉の里内施設との連携イベントに力を入れてもらいたい。</p>
<p>② 県の対応状況について（自己評価）</p> <p>指定管理者からの定期報告により運営状況の確認を行うとともに、必要に応じて指定管理者と情報交換、協議を行いながら対応している。</p> <p>令和5年度は特に大きな苦情や問題点もなく、指定管理者、県ともにこれまで改善・指導等を行ってきた成果が表れてきたものと考えられる。</p> <p>今後も、指定管理者との連携を図り、利用者満足度の向上を図っていく。</p>

③ 次期指定管理者選定時における検討課題等

- ・ 指定管理者からの各種報告様式について、押印省略とし、利用者の属性等を把握できる項目にする。
- ・ 福祉の里センターだけでなく、福祉の里内施設の利用者の拡大に向け、県、指定管理者、大船渡市、大船渡市社会福祉協議会との連携を行う。
- ・ 年中無休の営業形態については、非効率であることから見直す。

9 改善状況等

改善を要すると評価された項目（C、D評価の項目について）
無し。
改善状況
（指定管理者から県への報告年月日： 年 月 日）
改善状況の確認
（再評価年月日 年 月 日）